

2015年度 定期講義 講義内容

みつぎりじかい
三桐慈海



大谷大学名誉教授
真宗大谷派妙覚寺
住職

1 仏教は何を説いているのか (前期)

仏教は生きる意味、如何に生きるのかを教えます。和訳された経典の文によって、仏教の基礎を学習してみたいと思います。

2 仏典解説 (後期)

般若経、維摩経、法華経、涅槃経などの大乘経典を解説し、諸経典の中より選んで実際の経文の講読を試みます。
※前期「仏教は何を説いているのか」を受講することが望ましい。

ふじしまたてき
藤島建樹



大谷大学名誉教授
真宗大谷派圓浄寺
住職

3 仏教の歩みを尋ねて—インドから日本へ (その3) —

10世紀に入ると「唐」帝国の崩壊をきっかけに東アジアは激動の時代を迎えます。周辺で勢力を蓄えた少数民族が興起し、契丹族の「遼」、党項族の「西夏」、女真族の「金」、蒙古族の「元」が次々と建国します。約400年間東アジアを席捲しました。その間、仏教も印刷術の進歩による「大藏経」の刊行なども有って、アジア全体に波及しました。日本における鎌倉新仏教の展開もその影響下にあります。

東アジアの歴史的推移に注目しつつ、仏教の状況を考究します。今年で3年目ですが、初めての方も興味を持っていただける様に留意しますので、ぜひご参加ください。

せこやすお
瀬古康雄



元島根県立大学短期大学部教授
しまねガムラン主宰
「庭火祭・国際民族音楽祭IN八雲」実行委員会副委員長
しまね多文化共生ネットワーク委員

4 アジアの風土と民族音楽Ⅰ～概説と楽器体験

民族音楽は初めてという人のための入門講座で、今年はインド音楽から始めてペルシャや中国などシルクロード各地の風土と伝統音楽を取り上げ、現地で収録したビデオや庭火祭などの日本公演のビデオを鑑賞するとともに、実際に各地の民族楽器に触れてみるという楽器体験も行います。

5 アジアの風土と民族音楽Ⅱ～鑑賞と実技

アジアの風土と民族音楽をめぐって、各地のユニークな音楽や舞踊を鑑賞し、芸術の背後にある風土や宗教について考えるとともに、インドのシタールやインドネシアのガムランなどの実技指導を行います。希望者には授業外の個人レッスンをしたり民族音楽を楽しんでいるいろいろな楽団を紹介します。

ふじおかだいせつ
藤岡大拙



島根県立大学短期大学部名誉教授
しまね文化振興財団理事長
荒神谷博物館館長

6 出雲学概論

古代出雲を中心に、出雲神話、神祇信仰、神社の実態、神仏習合過程等を述べ、続いて大和政権の支配下に入ってから出雲が、どのような歴史を辿るかを、伊勢と出雲の二極の相関関係の中で考え、現在の出雲のよって来る歴史的因子を探りたい。

さいとうしゅんけん
齊藤舜健



浄土宗総合研究所
専任研究員
浄土宗西方寺副住職
佛教学非常勤講師

7 『無量寿経』を読む

我が国では多くの仏教宗派が南無阿弥陀仏と口に称えることで救われると説く。その教えは法然が説き始めたが、その際、彼が根拠としたのが『無量寿経』『観無量寿経』『阿弥陀経』という三経典で、浄土三部経と呼ばれる。『無量寿経』には、阿弥陀仏が仏となった経緯、阿弥陀仏によって救われる理由などが述べられていて、法然の理解を通すことで、我が国の阿弥陀仏信仰の根元となった。一方で、インドの初期大乘仏教以来の菩薩思想、現在他方の諸仏の思想に基づく経典でもある。

本講座では、インド仏教と法然の浄土教という二つの方向から『無量寿経』を読み解く。27年度は昨年度からの継続で、阿弥陀仏の成道を説く所から読み始める。

〈参考書〉『浄土三部経』 中村 元、紀野 一義、早島 鏡正 (岩波文庫)
『現代語訳』浄土三部経』 浄土宗総合研究所 (浄土宗出版)

しみずたにぜんけい
清水谷善圭



安来清水寺第6世
貫主
特定非営利法人中村元記念館東洋思想文化研究所理事長

8 観想行入門—座禅を中心に—

お釈迦様が説かれた仏の教えをともに学び、その教えを会得する為に座禅を中心とした観想行の実践に取り組む。この観想行を通して心の内観・内省に努め、「色即是空、空即是色」の意味する処を体得していきたい。

しまだたかすけ
島田隆輔



中村元記念館東洋思想文化研究所研究員
博士 (文学)

9 〈新規開講〉宮沢賢治の《文語詩稿》を読む

童話の宮沢賢治は文語詩人でもありました。最晩年に集注した《文語詩稿》を、自筆原稿 (複写) を傍らに、イーハトーブ (岩手) の現実を直視する作品を読み解いてゆきましょう。「祭日」「盛岡中学校」「柳沢野」「盆地に白く霧よどみ」「母」「岩手公園」を読んで、その風土性・時代性について考えてみたいと思います。

〈参考書〉『新校本宮沢賢治全集』 (筑摩書房)

まとの かつゆき
野克之



島根県立古代出雲歴史博物館学芸部長

10 〈新規開講〉仏像 見分け方講座

近年仏像ブームと言われ、寺院巡りも単なる観光ではなく、お気に入りの仏像を目指して出かける方も多い。しかし、仏像の前に立ったとき、その仏像のお名前 (尊名) や意味などを理解して拝観しているだろうか。この講義では、まず仏像の尊名の見分け方を学ぶ。その後、各時代毎の仏像の特徴について学ぶ。最終的には、寺院の仏像の前に立ったとき、その仏像の尊名や造られた時代までが分かるようになることを目指す。

〈参考書〉『仏像のひみつ』 山本勉 (朝日出版社)
『仏像に会いに行こう』 副島弘道 (東京美術)